



- ①大勢の市民から歓迎を受ける山室選手
- ②感謝状贈呈式では「2020年東京オリンピック」への出場を力強く誓ってくれました
- ③菅谷市長から感謝状を贈呈
- ④男子団体総合決勝、つり輪の演技。悲願の「金」に日本中が歓喜にわきました

リオデジャネイロ
オリンピック

感動をありがとう

日本中が感動と熱気に包まれたリオデジャネイロオリンピック。体操男子団体で金メダルに輝いた古河市出身の山室光史選手(コナミスポーツクラブ所属)が9月21日、市役所総和庁舎を訪れ、市長から感謝状を贈呈されました。

市では、日本代表決定後からJR古河駅に横断幕を掲示したり、広報紙等で紹介したりするなど、市民一丸となって山室選手へエールを送ってきました。

ふるさと「古河」に凱旋した山室選手が、オリンピックの感想や今後の目標を語ってくれましたので紹介します。

「おめでとう」約300人がお出迎え

9月21日、市民や市職員など約300人が市役所総和庁舎前で山室選手を出迎えました。

首に金メダルを掛けた山室選手が到着すると、手作りの国旗の小旗を振った市民から「おめでとう」「感動したよ」と、大きな声援と拍手がわき起こりました。

また、東京や大阪など遠方から駆けつけた体操ファンもいて、「おめでとうが言いたく

てここまで来ました。出迎えに参加できて感激です」と話していました。

市民に喜びと感動を与えてくれたことに感謝

感謝状贈呈式には、山室選手の母の礼子さんや、小・中学校時代の恩師なども出席。菅谷市長から「市民に多くの喜びと感動を与え、古河市の名声を高めた」とする感謝状が